

この月刊サワネを、お知り合いの方に見せてあげてください、きっと喜んでいただけます。

『「儀式」で職場が変わる』

クルシャット・オゼンチ他著 英治出版
267頁 2400円(税別)

儀式ということばに違和感を持たれる方もいらっしゃると思います。その違和感をなくすためにこの本の冒頭に書かれている儀式の例を挙げておきます。

「プロのスポーツ選手が儀式を取り入れていることは、スポーツファンならご存じでしょう。テニスのラファエル・ナダルは、試合前に一連の儀式をみっちりとおこなっています。冷水シャワーを45分間浴びてから試合に出ることで、平常心を保ち、プレーに集中し、フロー状態に入れるようにしているのです」

儀式というと宗教的なものを思い浮かべる方もいらっしゃると思いますが、本書では、宗教ではなくある目的を達成するという意図をもって意識的に行う一連の行動を儀式と呼んでいます。儀式によって、いつもとは違う感覚を呼び起こし、ふだんの体験を特別なものにします。儀式の効果として次のものを上げています。

- ・不安を軽減⇒パフォーマンスの向上
- ・不幸を乗り越える手助けとなる
- ・やる気と結束を強化⇒パフォーマンスの向上
- ・クリエイティビティを高める

本書では、いろいろなところで行われている儀式をたくさん紹介しています。職場全体で行うものもあれば、個人でできるものもあります。職場全体でのものは、導入しにくいと思いますが、経営者の方が試しにやってみることができるよう、ひとりでするものをご紹介します。

★フォーカス・ストーン

- ・大事な仕事に集中しなければならないとき。
- ・用意するもの：小さな石(フォーカス・ストーン、石でなくてもいい。小さめのモノ。)、集中のシンボル

・内容：フォーカス・ストーンを仕事場に置き、すべきことをやり遂げる意思を声に出してから、仕事にとりかかる。タイマーをセットしてもいい。フォーカス・ストーンが置かれている間は、集中し続けるのがルール。セットした時間になるか、作業が完了するかしたら、フォーカス・ストーンに感謝して片付ける。

力を借りるのは、ここぞというときだけにする。頼ってばかりいたら、特別な力がなくなってしまうからだ。

★気合い入れ動作

・極度に緊張する場面、重要な局面でパフォーマンスやプレゼンをおこなう直前。

・用意するもの：まじないのことば、歌詞、モノなどとそれに伴う動作

・内容：重要な局面の直前にちょっとした身体の動きを取り入れる儀式。スポーツ選手が試合や競技の前におこなっているものにヒントを得ている。たいてい、一連のちょっとした動作で、それにあわせて特別なことばを繰り返し唱える

★落書き日課

・脳を活性化させる必要があるとき

・用意するもの：紙・ペン・タイマー

・内容：机に向かったらペンを手に取り、用紙やノートにきっかり1分間、自由に落書きする。これから取り組もうとしていること、いま考えていること、でたらめなスケッチ、なんでも。ルールは絵や図を描くことと、1分きっかりで終えることだけ。

いかがだったでしょうか？御社でも何らかの儀式をされているのではないのでしょうか？朝礼やラジオ体操も儀式のひとつです。こういったものにちょっとした変化を加える、あるいは自分一人でする儀式を工夫して作ってみるといったことも仕事を楽しく、パフォーマンスを高めることになるかもしれません。

この月刊サワネを、お知り合いの方に見せてあげてください、きっと喜んでいただけます。

水道工事⇒トイレプロデュース

水道工事会社が新規事業としてトイレに着目、5年で売上高の2割を占めるに至りました。所沢市の石和設備工業という会社です。雑誌『日経トップリーダー』6月号から紹介いたします。

新規事業への進出の動機は、人手不足。人が来る会社にしないと存続が危うい。会社のブランディングをその手段と考えた社長は、ユニフォーム変更、ホームページリニューアル、社屋もリノベーションした。しかし、それだけでは、だめだ。何か面白いことが必要だ。それが「トイレの空間プロデュース」だ。トイレは水道屋の聖域、建築でもトイレ回りは水道屋が受け持ってきた。トイレ施工の知識技術は十分だ。キャッチコピーは「プロのトイレ空間プロデューサー集団」とした。直ちに成功したわけではなく、依頼された仕事に全力で取り組み、その効果が口コミで広がるのをまった。社長自身が各所のトイレを見て回った。トイレの評判が広まって、採用活動にも成果が出ている。

以上が記事のご紹介です。この記事は、新規事業を自社の得意とする分野で推し進めた話です。もともととしていた仕事を少し広げ、表現を変えたということも言えるでしょう。まったく新しい仕事に進出することは危険なことですが、ほとんど同じ事業で表現をかえることで新規事業となるものがあれば、まったく新しい領域に進出するよりは危険は少なく、それは希望となると思います。

自社の事業でそのようなものはないでしょうか？仕事を少し広げる、見方を変えることはできませんか。日々の事業をこなしながら、考えてみていただきたいと思います。

岡山の景気

県内の景気に関して、「岡山県金融経済月報」（5/2 日本銀行岡山支店）から概略をお知らせします。

1.概況

県内景気は、海外経済の回復ペース鈍化等の影響を受けつつも、ペントアップ需要（景気後退期に一時的に控えていた消費者の需要が、景気回復期に一気に回復すること）の顕在化等に支えられて、緩やかな回復を続けている。

2.実体経済

（1）最終需要

人流が活発化するもとで、飲食・旅行等のサービス分野を中心に増加している。

- ・百貨店・スーパー売上高：増加
- ・乗用車販売：足踏み状態
- ・家電販売：弱め
- ・主要観光地への入り込み：ペントアップ需要の顕在化等から、着実に増加

・設備投資：増加

・住宅投資：弱めの動き

・公共投資：緩やかに増加

（2）生産：持ち直している。

・化学は、弱めの動きが続く

・電気機械は、スマートフォン等における在庫調整の進捗から、下げ止まっている。

・輸送用機械：回復

・鉄鋼：自動車向け等の回復で持ち直し

（3）雇用・所得 労働需給は引き締まっており、雇用者所得は緩やかに改善している。

（4）物価 消費者物価（岡山市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、1%台後半

3.金融

県内実質預金、県内貸出は、ともに緩やかに増加している。貸出約定平均金利をみると、新規実行ペースでは下げ止まっている。